

南阿蘇村 復興むらづくり だより

復興推進課
Tel (67) 1113



■黒川地区初の災害公営住宅が完成

村で3カ所目となる災害公営住宅「長陽西部団地」が完成し、9月20日に現地で落成式が行われました。

同住宅は、先に完成した2つの災害公営住宅と同じく木造平屋で、震災当時避難所として利用された旧長陽西部小学校のグラウンド上に5棟10戸整備されました。

落成式終了後には、入居を予定している5世帯に村長から新居の鍵が手渡されました。また、建設課からは、実際に住宅の中を見ながらの設備説明なども行われ、入居予定者の方は「玄関に屋根



関係者によるテープカット

があり、駐車場からも室内も段差がなくて良い。待った甲斐がありました」と話されていました。



村建設課による説明会

■復興むらづくり協議会交流会

10月10日、南阿蘇村役場で、第二回復興むらづくり協議会交流会が行われました。

今回の交流会の目的は、各復興むらづくり協議会と意見交換することです。

交流会には各会3〜5人程度出席し、三部構成で行われました。一部は各会の活動報告、二部は各会合同で質疑応答等のフリートーク、三部は今後の取り組み・課題について会ごとに話し合いました。

二部のフリートークでは取り組みに至った経緯や苦労したこと、やりがいを感じたことなどの体験談や質問が飛び交い、盛り上がる意見交換になりました。

三部では多くの会が「無理なくできる楽しいことを継続的にやりたい」ということ、「せっかくの機会なので近隣の地区と合同で取り組める事業をしたい」と振り返りました。その他にも「会を盛り上げるためには外部との関係だけでなく、会のメンバーや行政区内でも親睦会等を開き、交流の機会を設けたい」など今後の取り組みに前向きな姿勢がうかがえました。

活動報告風景



フリートーク風景



■南阿蘇村復興むらづくり計画の改訂について

熊本地震から3年以上が経過し、被災者の方々の生活再建やインフラの復旧が進み、様々な事業や制度が充実したことから、震災初年度に策定した当該計画の見直しを行うこととしました。

改定に当たっては、有識者や村議会及び各分野の代表者等をメンバーとした「南阿蘇村復興むらづくり計画改定委員会」を組織し、去る8月29日には第1回会議を開催しました。今後、さらに会議を重ね、村民の皆様のご意見等も参考に、年度内の計画策定を目指します。



会議風景